

活動記録書

開催日： 令和5年11月20日(月) 晴れ	開催テーマ：令和5年度特別バス探訪『国宝運慶 仏と北条氏ゆかりの寺を巡る』
開催場所： 中伊豆	記入者：川口 寿
参加人数： 会員 28名 準会員・休会 4名 ビジター 13名 合計 45名	
<p>コース：金沢文庫～成福寺(昇堂拝観)～願成就院(大御堂/国宝館拝観)～昼食(レストラン葎山代官屋敷)～修禅寺(宝物館拝観)～中伊豆ワイナリー～金沢文庫(解散)</p> <p>4年ぶりの待望のバス探訪が催行となり、東洋観光のバスで予定通り7時半に金沢文庫を出発した。バスガイドは過去何度もお世話になっている横田さんと、穏やかに楽しい語り口調と参加者同士のおしゃべりで車内は終始和やかな雰囲気にも包まれた。</p> <p>保土ヶ谷バイパスで渋滞はあったが、東名、新東名に乗り伊豆の国市に10時過ぎに到着する。途中で見え隠れする富士山には初めは雲がかかっていたが、次第に晴れ渡り、青い空と白い雪を被る富士山の絶景のコントラストを道中楽しむ事が出来た。</p> <p>最初の訪問地では、願成就院と成福寺を2組に分けて現地ガイドの案内で前後して訪ねた。願成就院は、源頼朝の奥州藤原氏討伐の戦勝を祈願して1189年北条時政によって建立された。大御堂には、時政発願による運慶作の国宝仏が五軀祀られている。運慶が35歳頃の東国での最初の仏像であり、圧倒的な量感と写実を踏まえた彫技に、武士の時代鎌倉の力強い息吹を感じた。</p> <p>成福寺は、北条時宗の三男正宗によって1289年に建立された浄土真宗の寺院である。父時宗の死後、鎌倉から北条氏発祥の地に戻り北条一族の菩提を弔ったとされる。境内にある北条一族歴代の墓に手を合わせ、のどかな彼らの出身地と、鎌倉時代を形作った北条の武将達の激動の生涯に思いを馳せた。</p> <p>その後、合流してバスにて昼食場所「葎山代官屋敷」へと向かう。食事処は、事前に予約&注文しておいたにも関わらず、料理の品や皿、醤油、汁などの一式が整うまでにかかり時間が掛かった。旅の楽しみは食事ははずが、参加者には不快な思い出となってしまい残念に思った。</p> <p>昼食後、再びバスに乗り込み修善寺温泉へと向かう。この地は、弘法大師空海が、病の父の患部に少年が川の水をかけていることを不憫に思い、法具独鈷で岩を砕くと温泉が湧き出た、と伝わる。バスを降り、竹林の小径を通り桂川に架かる赤い楓橋、桂橋を渡る。心地よい風が吹き、空の青と竹の緑、所々の紅葉の赤が美しい。15分程散策すると、空海が開創した修禅寺に到着した。観光温泉地であるが、この寺での源頼朝や範頼が幽閉され誅殺された悲哀に胸を痛める。宝物館には、頼朝の腫れあがった顔を伝える木彫りの面や、胎内に髪を納めた北条政子寄進の大日如来坐像等多くの宝物が飾られていた。昭和の半ばに寄贈された、川端龍子が描いた大龍天井画も迫力があつた。</p> <p>同じ散策路を引き返し、いよいよ最後の訪問地中伊豆ワイナリーヒルズへと向かう。一人100円/回で数種のワインとジュースの試飲を楽しんだ。建物のテラスからは、広大なブドウ畑と雲一つない富士山を見ることが出来、出発までのひと時素晴らしい景色を堪能した。各自お土産を買い込みバスに乗り帰路につく。</p> <p>事故渋滞などで予定より1時間半ほど遅れての金沢文庫到着であったが、車内では、アルコールやお菓子をお供におしゃべり等で楽しく過ごし、遅延への苦痛は許容範囲内であったかと感じた。事故や病気も無く無事にバス探訪を終えることが出来、参加者の皆様のご協力に感謝したい。</p>	
参加者の状況・意見など： 4年ぶりのバス探訪は、解散時に「楽しかった」という多くの声をもらえた。4ヶ所の訪問地と時間配分も特に問題はなかったと感じた。晴天と富士山の絶景が何よりの贈り物であったと思う。	
<p>次回の予定： 令和5年12月7日(木)10時 集合場所：京急・神奈中バス停「大道中学校前」 テーマ「鎌倉武士たちも歩いた塩の道」</p>	